

令和6年度 学校園評価(関係者評価)シート

学校園名

加古川市立平岡南幼稚園

1 教育目標

心豊かに学び合い 育ちあう子どもの育成

2 基本方針

- ・幼児期にふさわしい生活を通して、温かい仲間関係を育てる。
- ・健やかな体とやり遂げようとする心を育てる。
- ・道徳性、規範意識の芽を育てる。
- ・教師の研修を積み、指導力の向上を図る。
- ・家庭・地域との連携を深め、開かれた幼稚園づくりを推進する。
- ・幼児の安全を確保し、安全教育に努める。

3 指導目標

- (1) 心も体も健やかで 明るい子
(2) 思いやりがあり 心の優しい子
(3) 様々な経験を通して 主体的に遊ぶ子
(4) 自分の思いを伝え 素直に表現する子
(5) 感じる心 考える力がある子

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
基本的生活習慣を身につける	○進んであいさつをする ○衣服の着脱、手洗い、うがいなど自分でしようとする ○苦手な物でも食べてみたり、食事のマナーを知ったりする ○用便の仕方を知る。	B	・ユニットの活動としてあいさつ運動を行っている。当番を決め継続していることで、自ら挨拶をすることも多い。 ・家庭との連携を図りながら、個人に応じた生活習慣が身に付くようにしていく。 ・苦手な物も食べてみようと思えるように、野菜の栽培や収穫をしたり栄養や自分の体について学ぶ機会を増やしたりする。

自己評価の適切さ（関係者評価）	達成状況
・あいさつが定着していることはとても嬉しい。 ・食事のマナーや基本的生活習慣に関しては、やらなくてはいけない事は親が率先してこどもに伝えていってほしい。 ・偏食が多いこどもが増えていることは、身近な事柄としてよく感じる。保護者は「食べない」とすぐに判断せずに、一緒に調理を楽しんだり環境を変えたりしながら、工夫して食の楽しさや大切さを伝えてほしい。	A

物事に意欲に取り組み最後までやり遂げる	○夢中になって力いっぱい元気に遊ぶ ○興味や関心をもち、主体的に物事にに関わり活動する ○苦手なことにも粘り強く挑戦する (竹馬・パカポコ・縄跳び・コマ回しなど)	B	・様々な活動に興味をもち、意欲的に取り組めるような環境を整えることに努めた。苦手なことには消極的な面も見られたので、職員間の連携を図りながら子ども達の育ちを支えていく。 ・竹馬やパカポコに何度も挑戦する姿を励まし、気持ちに寄り添うようにした事で、できた喜びや達成感を味わう経験に繋がった。 ・園全体で子どもの姿を共有し、一人一人に合った援助についての検討が必要である。 ・保護者への理解については遊びを通しての学びや育ちについての啓発を促す。	・子どもにとって幼稚園は、家庭とは違う初めての「社会」を経験する場所。その「社会」の中で、友達との関係やルールを学んでいく。親と子どもの間でも、否定的な言葉で不安にさせるのではなく、意欲や自信がもてるように励ましたり、自己肯定感が高まるような言葉をかけてほしい。	B
感じたことや考えたことを素直に表現する	○様々な人や身近な自然との関わりから、自分の気持ちを素直に表現する ○お互いの話を聞き合い、伝え合う喜びを味わう ○命の大切さを感じ、思いやりの気持ちをもつ	A	・自分なりの言葉や身振りで伝えようとする姿を認めることで、友達同士で表現する過程を楽しんだり、喜びを味わったりする様子が見られるようになった。自分の思いを相手に伝える意欲を大切に育んでいく。 ・その季節ならではの自然に興味を深め、心を弾ませながら遊ぶ経験ができるように環境を整える。 ・保育者自身の言葉かけや関わる姿勢から子ども達は学んでいることを自覚し、命の大切さや相手への思いやりの気持ちを育てる。	・先生との信頼関係の上で自分の考えを話したり相手の思いを受け入れられるようになるので、子ども達の気持ちを支えてほしい。 ・公民館に遊びに来ている子どもに「幼稚園は楽しい?」と尋ねると「楽しい」「幼稚園好き」と答えてたので安心した。 ・様々な食物の栽培や収穫、調理までを経験したことで、実体験を通して食育の面からも食事の楽しさや大切さを学んでいることがわかる。 ・家庭に庭がない子どもが多くなってきている。意識して季節や自然に目を向けなくては、気付くことが難しい。幼稚園や保護者から積極的に身近な自然に興味が深まるような関わりをしてほしい。	A
健康と安全に気をつけて生活する	○安全な生活の仕方を身に付ける (交通安全・避難訓練・防犯訓練) ○集団生活のきまりや約束を守る ○手洗い、うがい、手指消毒を進んで行い感染防止を心掛ける	A	・子ども達が安全に生活できるように、遊具や施設の点検を行い、避難経路の確認や確保も職員間で共有している。 ・毎日の園生活でのきまりや約束を積み重ね、自信をもって行動できるようにしていく。 ・感染予防として保育室の換気や消毒、手洗い・うがいの励行、水分補給などの徹底を心掛けた。	・様々な避難訓練をしていることがわかった。 ・命を守る訓練を行っていることはとても良い。 ・感染予防の対策も浸透している。	A